

決算補足資料(2024年3月期 第2四半期)

2023年11月2日 / 株式会社シグマクシス・ホールディングス (証券コード:6088)



2024年3月期 第2四半期 決算概況

- 連結売上高106.3億円、経常利益20.8億円。
- コンサルティング事業:産業別では運輸、金融、通信、小売、商社、製造業を中心とした顧客を支援するプロジェクトが事業を牽引。売上は前年同四半期比30%増。
- 投資事業:上場株式の減損処理を行い、セグメント損失0.2億円。7月に総額約9億円の新規投資を実施。9月末時点の累計投資残高は評価差額を含め約28億円。

単位:百万円	2023年3月期 第2四半期 (4~9月)	2024年3月期 第2四半期 (4~9月)	対前年同期 増減率	2024年3月期 連結業績予想	業績予想 達成率
連結売上高	8,028	10,639	+33%	19,200	55%
(コンサルティング事業)	8,060 (※)	10,451 (※)	+30%		
(投資事業)	18 (※)	262 (※)	+1,305%		
経常利益	1,532	2,087	+36%	3,850	54%
(経常利益率)	19%	20%			
四半期純利益	929	1,544	+66%		
自己資本比率	76%	76%			

※ セグメント間の内部売上高等含む。

2024年3月期 第2四半期 連結損益計算書

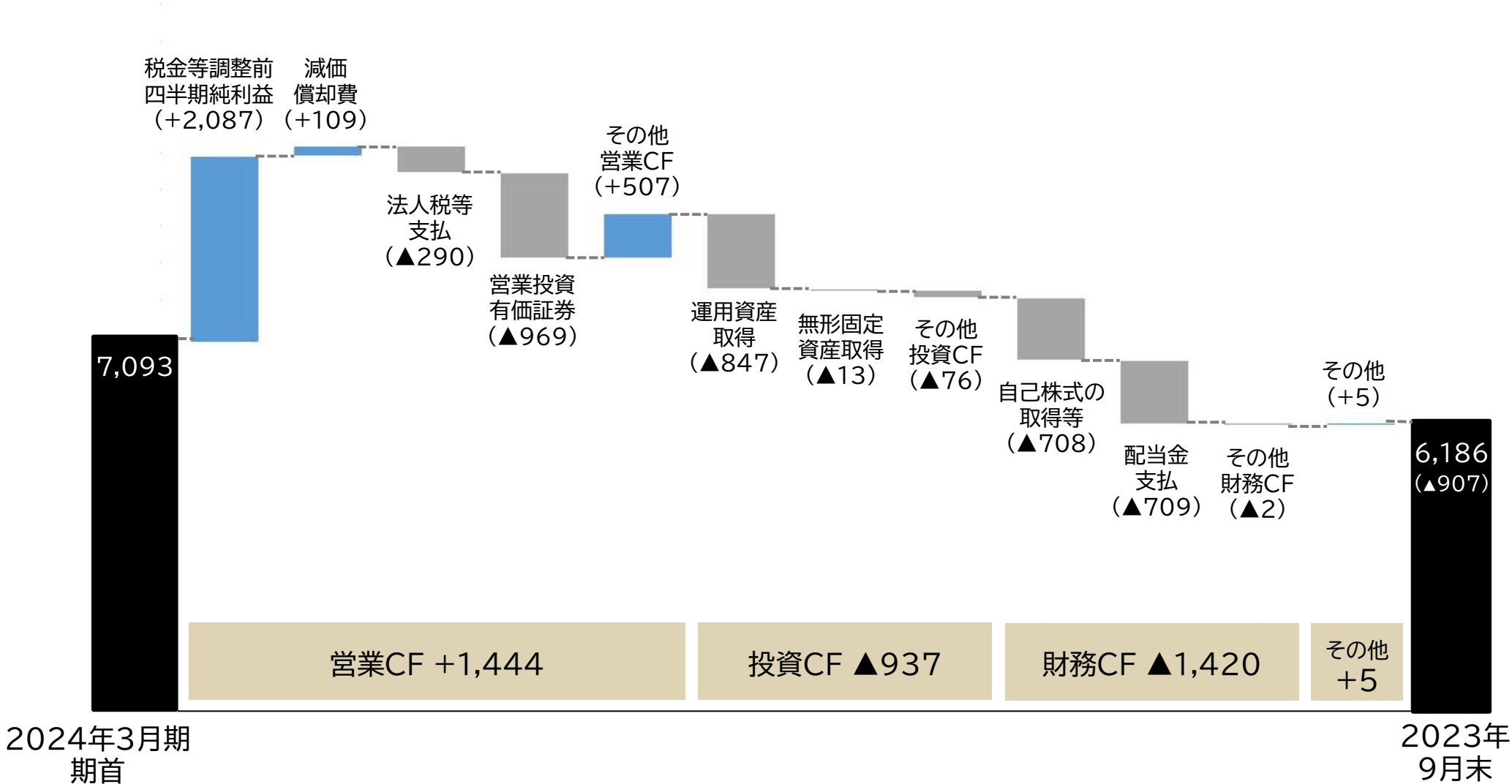
単位:百万円	2023年3月期 第2四半期 (4~9月)	2024年3月期 第2四半期 (4~9月)	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	8,028	10,639	+2,611	+33%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旺盛な顧客需要に対応した外注費の増加 ・ 売上高の増加 ・ 人員増や対面活動の活発化に伴う諸経費の増加 ・ 採用費の増加 ・ 法人税等の減少
売上原価	4,079	5,678	+1,598	+39%	
売上総利益	3,948	4,961	+1,012	+26%	
販管費	2,466	2,945	+479	+19%	
営業利益	1,482	2,016	+533	+36%	
経常利益	1,532	2,087	+555	+36%	
税金等調整前 四半期純利益	1,532	2,087	+555	+36%	
四半期純利益	929	1,544	+614	+66%	
四半期包括利益	1,146	1,367	+220	+19%	

2024年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

単位:百万円	2023年 3月期末	2024年3月期 第2四半期末	対前期末	主な増減
流動資産	12,013	12,123	+109	・現金及び預金の減少、売掛金及び営業投資 有価証券の増加
現金及び預金	7,093	6,186	▲907	
固定資産	2,447	3,488	+1,040	・投資有価証券の増加
資産合計	14,461	15,612	+1,150	
流動負債	1,978	2,867	+889	・買掛金及び未払法人税等の増加
固定負債	1,605	881	▲723	
負債合計	3,583	3,749	+165	・借入金無し
純資産	10,878	11,863	+984	
自己資本比率	75%	76%	+1pts	

連結キャッシュフローの推移

(単位:百万円)



2024年3月期 第2四半期 セグメント別業績 概況

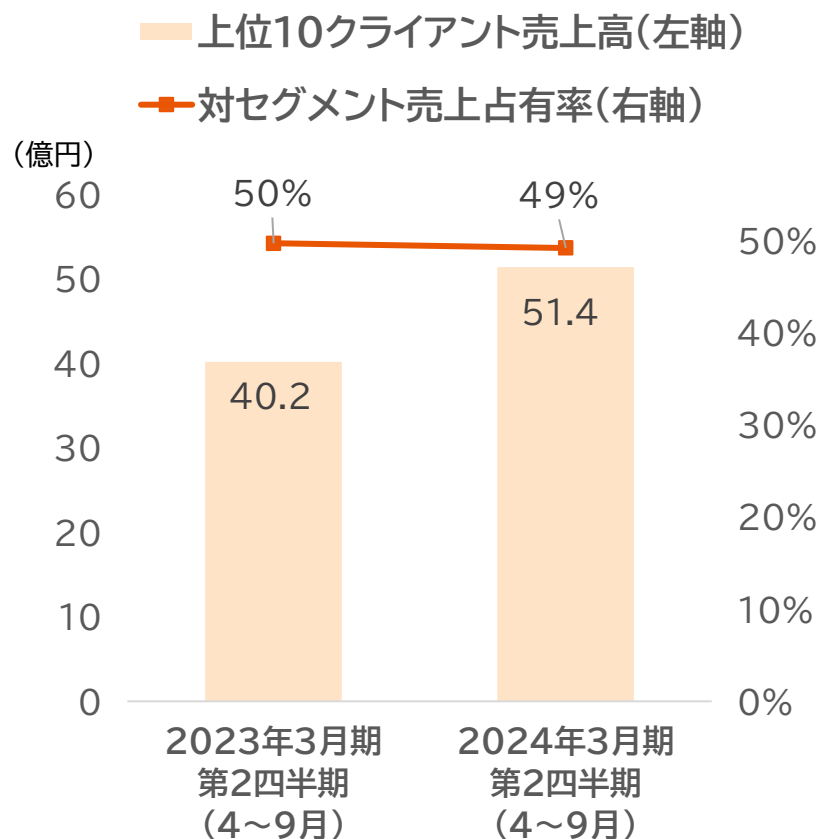
単位:百万円	2023年3月期 第2四半期 (4~9月)	2024年3月期 第2四半期 (4~9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
連結売上高	8,028	10,639	+2,611	+33%
（コンサルティング事業）	8,060	10,451	+2,391	+30%
（投資事業）	18	262	+244	+1,305%
（内部取引）	▲50	▲74	▲24	—
セグメント利益	2,317	2,943	+626	+27%
（コンサルティング事業）	2,465	2,966	+500	+20%
（投資事業）	▲148	▲22	+125	—
売上高セグメント利益率 ^(※)	29%	27%	▲1pts	—
（コンサルティング事業）	31%	28%	▲2pts	—
（投資事業）	—	—	—	—

(※)売上高セグメント利益率は売上高にセグメント間の内部売上高等を含んで算出。

(参考)セグメント情報

コンサルティング事業は産業別では運輸、金融、通信、小売、商社、製造業を中心とした顧客への基幹システムのSaaS化支援、デジタル・トランスフォーメーション推進支援、新規サービス立上げ支援、各種規制対応支援などのプロジェクトが事業を牽引。投資事業は7月に約9億円の新規投資を実施し、評価差額を含む投資残高は9月末時点で約28億円に。

コンサルティング事業

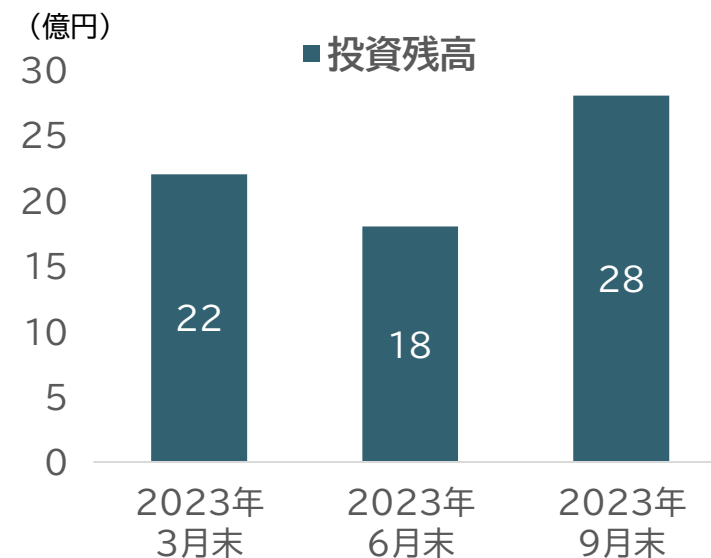


(参考)
 (株)シグマックスのプロジェクト数、クライアント数、契約あたり売上

	2023年 3月期 第2四半期 (4~9月)	2024年 3月期 第2四半期 (4~9月)	対前年 同期比
プロジェクト数*	540	615	+14%
クライアント数**	125	136	+9%
契約あたり 売上 (百万円)	14.6	16.9	+16%

全ての数値はSXA・SXFを除いて集計（2023年3月期第2四半期の数値も遡及して再集計）しています。
 *プロジェクト数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトを契約単位で集計。
 **クライアント数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトのクライアントを法人単位で名寄せして集計。

投資事業



- 7月に総額約9億円の新規投資
- 9月末投資残高 約28億円
- 上場株式を減損処理

「生成AI研究ラボ」 生成AIサービス導入

2023年5月に伊藤忠商事株式会社様が立ち上げた「生成AI研究ラボ」に、シグマクシスが参画。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社様、株式会社ブレインパッド様も参画する同ラボでは、各社のスキルを活かし、ChatGPTなどの生成AIを用いた企業の業務変革や新規ビジネス開発支援を行う。シグマクシスは、生成AIの知見やビジネス活用へのノウハウを生かし、同社業務における生成AIユースケースの提案と絞り込み、ビジネス・システム構想の策定、実現ロードマップの作成、実装支援を行った。

同年7月、同社従業員4200名を対象に、Azure Open AIを活用した生成AI利用ビジネスチャットの提供を開始した。

今後は、業務システムとの連携を進め業務の生産性向上を図るとともに、同社グループ企業への展開や新規事業開発における活用も視野に、同社グループ全体の価値創造力強化への貢献を目指す。



関連リンク: Business Insider Japan (2023/7/25)
伊藤忠商事が「社内版ChatGPT」を4200人に導入開始…“商社が使う生成AI”への期待

<https://www.businessinsider.jp/post-273084>

つくば市「IoT機器・遠隔診療機器等を活用した医療・介護連携に関する調査」が 内閣府調査事業に採択

シグマクシスは、株式会社Z-Works、TXP Medical株式会社と協力して、内閣府の公募事業「先端的サービスの開発・構築や先端的サービス実装のためのデータ連携等に関する調査事業」に「IoT機器・遠隔診療機器等を活用した医療・介護連携に関する調査」の申請を行い、2023年7月に採択された。

3社による調査は、2022年4月にスーパーシティ型国家戦略特別区域に指定された茨城県つくば市が目指す先端的医療・介護サービス「つくばヘルスケア」においての、いつでもどこからでも医療と安心を得られる環境の実現に向け、在宅介護向けIoTセンサーや遠隔診療機器を活用した、在宅高齢者宅や介護施設における医療・介護連携サービスの提供の可能性を検証することを目的とする。

本調査においてシグマクシスは、コンサルティング事業を通じて得たDXならびにヘルスケア領域のノウハウ、実績を生かし、つくば市との連携も行いながら調査全体の実行を推進していく。

関連リンク：プレスリリース（2023/9/21）

スーパーシティ型国家戦略特区における「先端的サービスの開発・構築や先端的サービス実装のためのデータ連携等に関する調査事業」に採択
https://www.sigmaxyz.com/news/release_20230921/

[実施エリア] 茨城県つくば市内
 （市内の在宅介護高齢者宅・介護施設、病院等）

[各社の役割]



- ・つくば市との連携
- ・調査全体の実行



- ・介護支援システム「ライブコネクト」を在宅高齢者宅や介護施設に設置
- ・収集データ分析



TXP
Medical

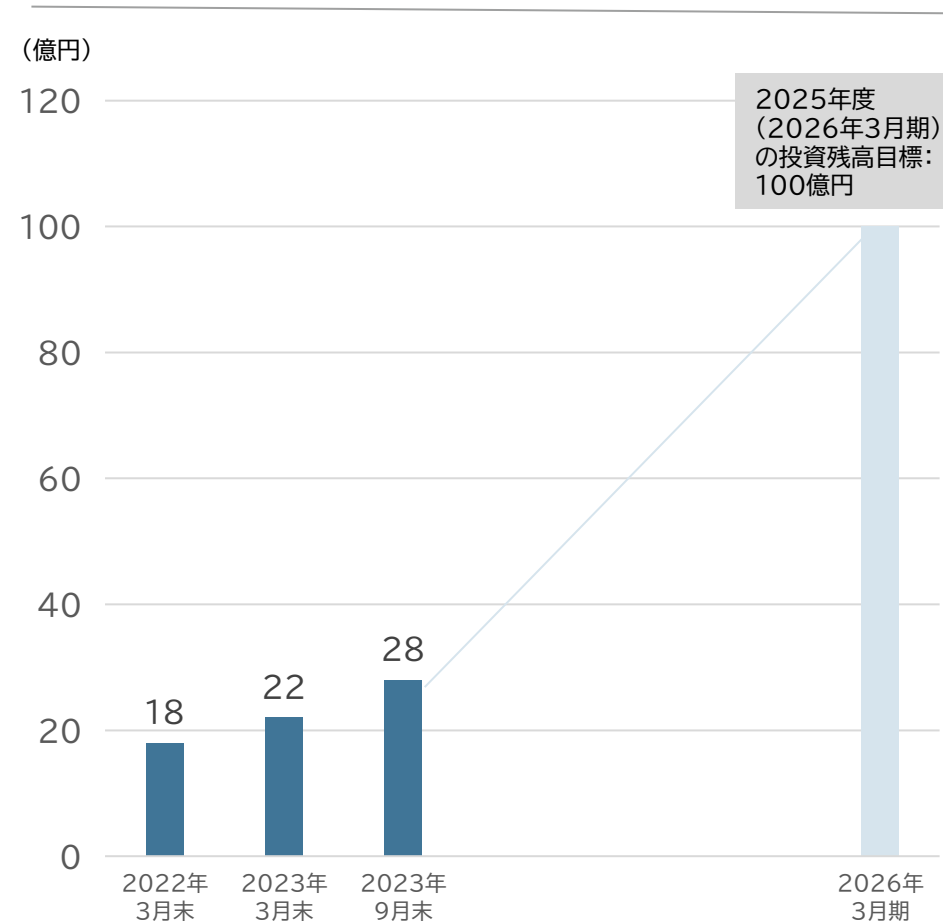
- ・医療現場経験者としての知見による医学的見地からのアドバイス

投資先企業一覧

- 投資事業は、複数の産業を横断したリジェネラティブ&ウェルビーイング領域を中心に投資。また、投資先に対して、コンサルティングによるバリューアップ支援で企業価値向上をサポート。
- 2023年9月末時点の累計投資残高は約28億円(評価差額を含む)。

出資年	社名	事業内容	備考
2018	ギリア株式会社	AIソリューション	
2019	Creww株式会社	スタートアップコミュニティ運営	
	株式会社モンスターラボホールディングス(東証グロース市場 5255)	デジタルコンサルティング事業 ソフトウェア開発	
2022	自然電力株式会社	国内外での太陽光・風力・小水力等の再生可能エネルギー発電事業等	
	株式会社eWeLL(東証グロース市場 5038)	訪問看護専用電子カルテの業務支援 SaaSの開発・提供	
	フォレストエナジー株式会社	地産地消型の木質バイオマス発電事業	
	株式会社メンタルヘルステクノロジーズ(東証グロース市場 9218)	企業の従業員健康管理に関する各種サービス	
	株式会社ドラEVER	インターネットを利用した運送会社サポートサービスの提供	
2023	GVA TECH株式会社	リーガルテックサービスの開発・提供	2023年7月 新規投資
	株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ	太陽光発電事業、GXソリューション事業等	2023年7月 新規投資

投資残高推移



重要業績評価指標(KPI)

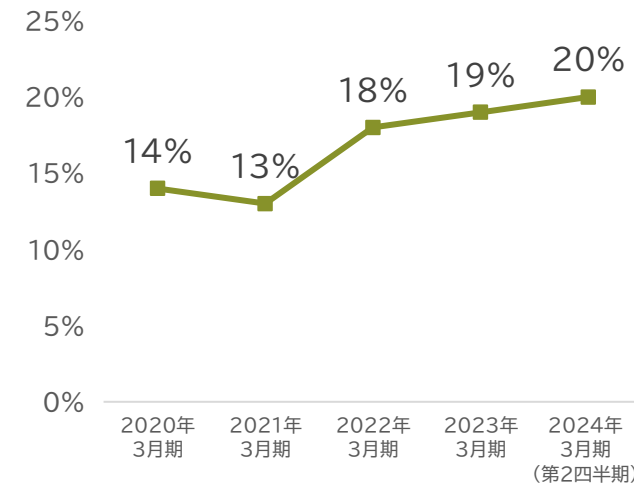
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	対前年同期比
連結売上高 経常利益率	19%	20%	+1%

コンサルティング事業	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	対前年同期比
コンサルタント数	521	584	+12%
プロジェクト 満足度(NSI*)	94	94	-

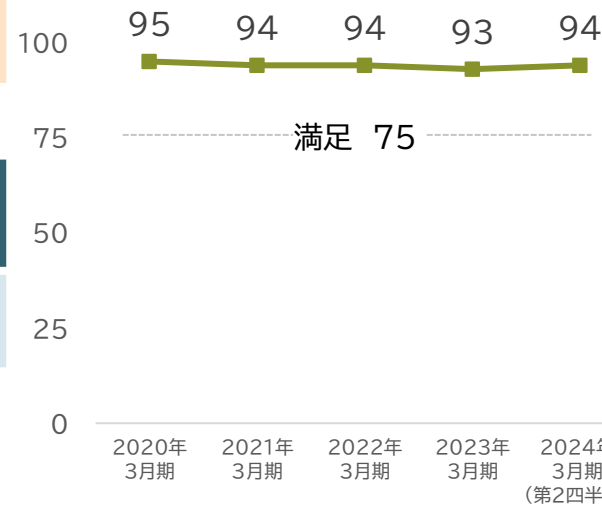
投資事業	2023年3月期末	2024年3月期 第2四半期末	増減
投資残高	約22億円	約28億円	+約6億円

* NSI(Net Satisfaction Index): プロジェクト満足度評価の各設問五段階評価結果の平均点。クライアントのプロジェクトオーナーにアンケート形式で実施。五段階評価は、5:大満足 100点、4:満足 75点、3:どちらとも言えない 50点、2:不満 25点、1:大不満 0点で配点。

経常利益率推移



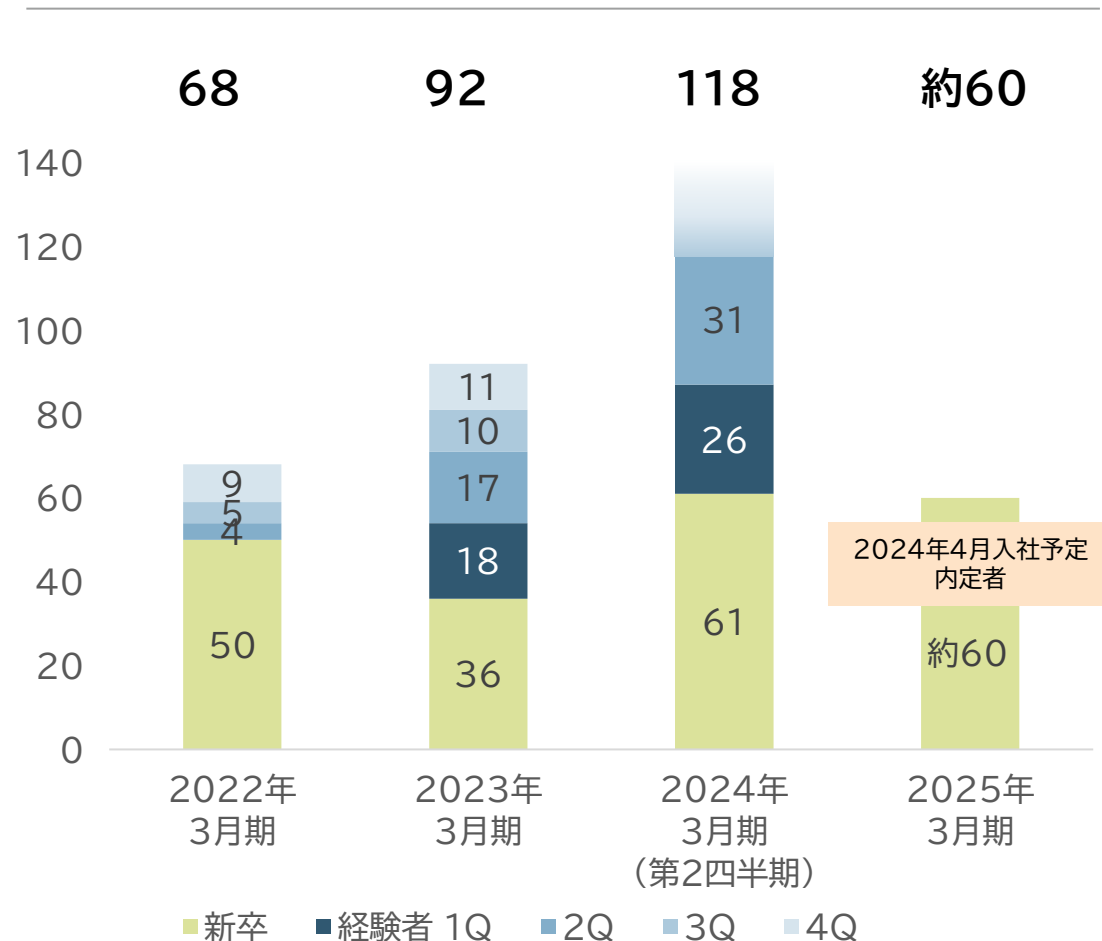
プロジェクト満足度推移



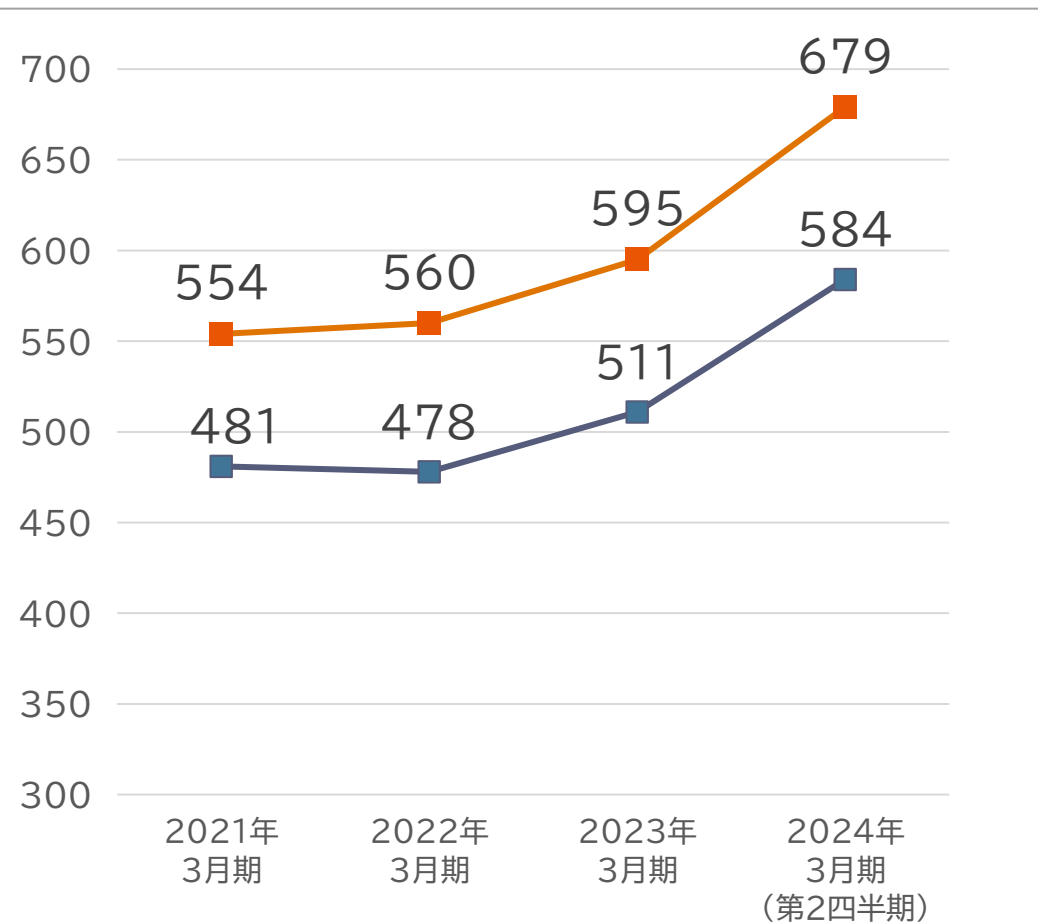
採用活動

第2四半期累計期間に経験者57名、新卒61名が入社。2024年4月の新卒入社内定者は約60名と計画に沿って積みあがっており、経験者とあわせて採用活動は順調に進捗。

年間採用人数(コンサルタント) 単位:人



グループ社員数(■)・コンサルタント数(■) 単位:人



2024年3月期 連結業績予想

2023年6月27日修正

単位:百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 連結業績予想	対前期実績 増減率	2024年3月期 第2四半期実績	進捗率
売上高	17,334	19,200	+11%	10,639	55%
営業利益	3,235	3,850	+19%	2,016	52%
経常利益	3,265	3,850	+18%	2,087	54%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,204	2,900	+32%	1,544	53%

- 価値共創のための構想提案を実施し、企業のトランスフォーメーション(『3つの変革』)の支援、複数企業間連携による新規事業立ち上げやビジネス機能の共有化支援、ベンチャー企業への投資と事業支援などを推進。
- コンサルティング事業:事業成長のために必要なコンサルタント能力(スキル×人数)の拡充を継続。
- 投資事業:特にエネルギーやヘルスケア分野において、20億から30億円程度の新規投資を計画。過去の投資案件から収益獲得。

(注)連結業績見通しにおいて、投資事業はその事業特性から国内・海外の株式市場並びに新規上場市場の影響を強く受け、収益水準の振幅が大きくなる可能性があります。現時点で把握可能な情報に基づき業績予想を行っております。

配当方針

2023年11月2日修正

- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。
- 安定的な成長が見込めるため、株主還元を強化。

	2023年3月期	2024年3月期 (予想)	対前期増減
年間配当金／一株当たり	16円	25円	+9円

(注)上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

(参考) 2025年度〔2026年3月期〕 ありたい姿

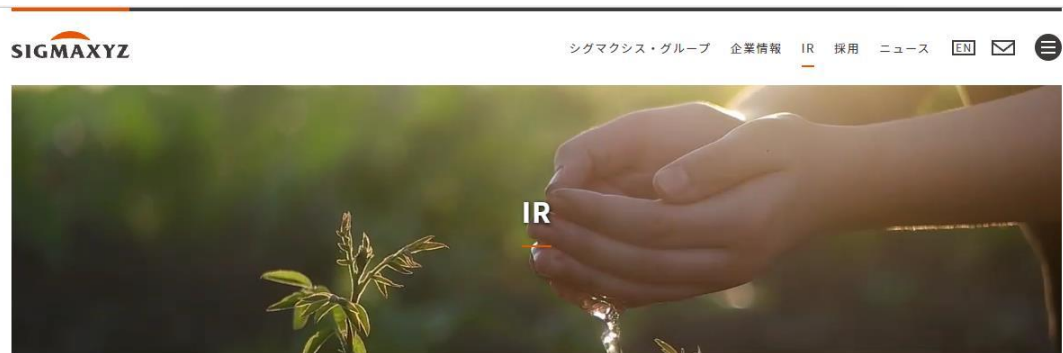
2022年8月公表

	<u>2026年3月期 ありたい姿</u>	<u>2023年3月期 連結業績予想</u>	<u>年平均成長率 (CAGR)</u>
連結売上高	250 億円	172 億円	13%
経常利益	70 億円	32 億円	30%
利益率	28%	19%	-
人員数	約800 名	約600 名	約10%

- 当社グループは、昨今の変化の激しい環境においては、毎年機動的に戦略を見直し、翌年度事業計画に反映していくことが望ましいと考えているため、中期経営計画を策定しておりません。
- 「ありたい姿」は、当社グループの中長期の成長イメージを株主・投資家の皆さまと共有する目的で、数年ごとに参考情報として公表しています。

(参考)決算補足資料の音声解説

決算発表当日の18時に、本資料の音声解説を弊社ウェブサイトIRページに掲載いたします。



IR情報

www.sigmxyz.com/ir/



本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマクシス・グループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマクシス・ホールディングスは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマクシス・ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

URL: www.sigmaxyz.com
問い合わせ先: sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com

